

## 平成 24 年度 緑区生活支援センター事業報告書

今年度はセンター開所から 7 年目となり、地域における役割が浸透してきたことを実感しました。「相談支援事業」「地域活動支援センター事業」「地域移行・地域定着支援事業」「自立生活アシスタント事業」の各事業に「生活支援事業」をプラスして 5 事業を充実させる事が出来ました。

生活支援事業の「宿泊支援事業」では、地域移行に向けての生活体験が必要な長期入院中の対象者に向けて、職員の同行宿泊を併せた定期的な GH 宿泊体験を実施し、医療機関や患者からの高いニーズを実感しました。今後もこれらの事業をさらに円滑に遂行する為、地域や各事業所との連携の強化に努め、当事者のみならず、家族や地域住民、地域の支援者等からの支持を得られるセンター機能を有していく様努めていきます。

### 【利用実績】

別添資料 1 参照

### 【事業実施内容】

#### 1. 地域活動支援センター事業及び相談支援事業

##### (1) 相談支援

利用者の相談においては、ご本人のニーズに基づきその人の真の訴えは何なのかを洞察し、常に支援の見立てと方向性を検討しつつ丁寧な相談支援が実施出来るよう努めました。

その人にとって必要な支援及び社会資源へ繋げていくことを十分に意識し、センターのみで支援する事でなく、地域や関係機関のネットワークでその人の支援を実施していくことを職員全員で常に共有しました。

また、区内のケアプラザを会場にした「個別出張相談」を毎月実施し、支援センター等、精神関連機関への相談になかなか繋がらない一般市民や家族を対象に相談の機会を設け、相談に来られた方を社会資源等へ繋げることが出来ました。

更に今年度第 4 四半期より、「心理士相談会」の試みを実施しました。嘱託医、職員に加えてまた新しい相談の機会の提供として、ニーズは十分に有るとの手ごたえを得ました。

##### (2) 情報提供

法制度の情報や利用者に必要な種々の社会資源の情報（GH 募集情報、就労関係、企画イベント）等、適宜様々な方法（センター便り、ホームページ、館内掲示、ブックラック等）を用いて利用者やその家族、関係機関等に提供しました。

##### (3) 場の提供・地域交流

当事者グループの定例会、当事者サークル活動、ホームヘルパー定期連絡会等の場の提供を実施しました。また合築施設の特性を活かし 3 障害合同のお祭り（秋のコスモスフェスタ）の実施や施設開放を通して、他障害関係機関や地域の色々な施設等との共催により地域市民との交流を図りました。

#### (4) 自主事業

※別添資料 2 参照

区内の関係機関とのより密接な連携に繋がる事や、「地域全体で緑区の方々の精神障害の方々を支える事」を目的として、センターが中心となり、年間2回（納涼会、クリスマス会）区内精神関連施設全部が一同に介し、協働しての行事を実施しました（開所より継続実施）。

また、利用者同士の交流や仲間づくりの場、趣味の幅を広げる事など余暇支援を目的として、様々な行事、プログラムを実施しました。

「たこ焼き会」「ビーズ作り」「緑菜園」などのプログラムは、誰でも初めてでも参加し易く、地域移行地域定着支援事業とも連携し入院中の患者さんも積極的に参加されました。

#### (5) 訪問・同行

センター利用者への定期的な訪問に加え、地域移行・地域定着支援事業と自立生活アシスタント事業との連携により、入院中から地域移行後の地域生活安定までの一連の流れの中で有機的に訪問・同行を実施しました。

また、緊急時や不穏時、家から一步も出る事が出来なくなった状況等々日々の関わりの中から情報を察知し、必要に応じたタイムリーな訪問等の積極的な支援を実施しました。

#### (6) ボランティア育成

緑区社協、区福祉保健センターとの共催で、他関係機関の協力も仰ぎ「こころの病を抱えた人がわかる講座」を地域ケアプラザにて開催（継続実施で5か所目）。ボランティア活動推進・育成と地域への普及啓発活動に力を入れました。

#### (7) 家族支援

区福祉保健センターとの共催で、発症間もない家族を対象にした「家族教室」と、緑区家族会と連携した「家族教室」の2種類（計3回）を実施し、家族の孤立防止と相談場所等の情報提供に寄与しました。また、家族会定例会への参加や、「家族による家族学習会」実施に向けての協力を提案し、浜家連とも連携しつつ緑区家族会へのバックアップを実施しました。

#### (8) その他

「利用者アンケート」や「メンバーミーティング」、「意見箱」及び利用者から寄せられた直接的な意見や質問等について職員ミーティング、職員全体会議において協議し、早急に対応すると共に、掲示等により利用者に向けて回答内容等を周知しました。

## 2. 地域移行・地域定着支援事業

※統計については別添資料 1 参照

退院することのみならず地域への定着を意識した支援を実施し、退院後も入院を繰り返さない様、その地域の支援センターや関係機関及び区福祉保健センターとの連携を図りながら、安心した地域生活を目的とした支援を実施しました。

また当センターで実施の「宿泊支援事業」の活用は、退院後の地域生活を具体的にイメージする為の体験として、長い入院生活では学ぶことの出来ない貴重な経験の場面となりました。

さらに、個別支援と並んで事業の重要な内容である「医療機関への普及啓発活動」についても、北部ブロック（緑、港北、鶴見、神奈川区）の各センターと協働し打合せを重ねたなか、市内の医療機関へ出向き事業の理解や社会資源の紹介等実施しました。

また、今年度から当事業を実施しなくなった旭区支援センターでの事業利用者の支援を引き継いだと同時に、「キャラバン隊かめ（当事者活動グループ）」の活動支援についても旭区支援センターと協働し毎月実施しました。

### 3. 自立生活アシスタント事業

※統計については別添資料1参照

本事業は本年度で2年目となり、単身で地域生活を送っている精神障害者が安心して、安全に暮らせるよう、対象者の課題やニーズに個別対応したきめの細かい支援を実施しました。

また、他のセンター事業や地域移行・地域定着支援事業とも連携を図り、支援センターの中で有機的な事業展開となるような位置づけとして事業を実施することを意識しました。

また、区福祉保健センターと共に「緑区自立生活アシスタント連絡会」を実施し、本事業を円滑に実施する為の情報共有や事例検討等を行いました。

### 4. 生活支援事業（地域支援事業）

社会資源につながらず、支援センターにも来所することが困難な方々への支援及び地域との交流の機会を提供することを目的に、支援センター内ではなく、地域に出向く形で参加しやすいプログラムを定期的実施しました。

#### ①ビーズ作り

中山地区センターを会場に、地域のボランティアを講師として、誰にでも制作できる簡単なビーズ作りと地域の方々にも広報し、参加を促し交流を図りました。

（年間12回開催し、延194名の参加がありました。）

#### ②講習会・相談会

##### ・「家族教室」

対象：発症後間もなく（5年未満）まだ家族会に所属していない精神障害者の家族

内容：講座形式による情報提供と家族同士の交流を目的としたグループワーク

（統合失調症について、制度、リハビリ、家族対応、社会資源、当事者発表）

##### ・「家族教室」

対象：家族会会員、前回の家族教室参加者

内容：講師による家族SST

##### ・「講習会、講座」

対象：地域の方々、家族、地域の民生委員等

場所：区内ケアプラザ

内容：「こころの病について」「制度、社会資源」「当事者による体験談発表」

### 生活支援事業（宿泊支援事業）

今年度地域移行地域定着支援と連動し、主に入院中の方を対象として10回実施。

他法人と紫雲会とで協定を締結し、他法人のグループホームの空き部屋を利用し宿泊体験

を支援しました。医療機関や長期入院中の患者さんからの高いニーズがあることや、事業を通して長期入院の方の地域生活体験をする機会不足を実感しました。

## 【普及・啓発活動】

精神の障害に対する偏見や差別はまだ根強く残っているのが現状です。その為地域での生活が困難と思っている障害者が多く居ることも現状です。当センターの責務として地域に対する「普及・啓発活動」は特に力を入れて実施する必要があると考えています。

- ・地域の支援者（ケアマネジャ、民生委員、他障害施設職員等）、社会資源に繋がっていない家族等に対する普及・啓発活動を地域のケアプラザと連携し実施しました。
- ・その他、大学の授業の一環として福祉従事者を目指す学生に対する啓発活動として、社会資源や精神障害の現状等についての講義を実施しました。
- ・地域移行地域定着支援事業と絡めて、医療機関や入院中の患者への普及啓発活動

## 【その他】

### 1. 職員資質の向上・人材育成

より質の高い支援の提供を目的に、職員の育成に関して種々の対策を講じました。外部研修への参加、支援センター内部での職員学習会等を実施し、職員の資質と知識の向上に努めました。

### 2. 衛生管理

年2回、清掃業者による館全体の清掃、及び月4回近隣地域作業所による清掃、また毎月1回調理器具の消毒、漂白やシーツ類の洗濯を行い、衛生管理に努めました。特に調理室の衛生や調理に使用する布巾、タオル等については清潔を保つよう徹底しました。

また、ノロウィルス対策として、受付入口カウンターに手指の消毒液を設置、汚物処理方法のマニュアルを職員で共有するなどの予防に努めました。

### 3. 安全管理・災害対策

安全管理に関しては、利用者個々の日々の様子を意識し、不穏時の対策等について、日頃の職員ミーティングや職員全体会議に於いて検討、対応策を講じました。

災害対策は、緑区役所との「特別避難場所に協力する協定」に基づき、万一の災害時対策として、災害備品（発電機、サーチライト等の照明機器、ラジオ、懐中電灯等）を整備し、避難所としての整備を固めました。

また、緑区社協役員会にも参加し、「緑区内災害緊急時連絡用回覧板」や「回覧ルート作成」等協議を実施し、万一に備えて具体的な検討をすると共に、地域との連携を強化しました。

## 1. 平成 24 年度 緑区生活支援センター 年間運営状況

開所日数		353 日	
登録者数	24 年度登録	90 名	
	全登録者数	924 名	
利用者数	本人	10,178 名	28.8 名/日
	家族	156 名	0.4 名/日
	ボランティア・関係機関	901 名	2.6 名/日
相談支援	電話相談	14,227 件	40.3 件/日
	面接相談	1,227 件	3.5 件/日
	訪問・同行	177 件	0.5 件/日
	非構造面接	2,058 件	5.8 件/日
	嘱託医相談	35 件	1.4 件/日
各種サービス	夕食サービス	6,527 名	18.5 名/日
	入浴サービス	361 名	30 名/月
	洗濯サービス	134 名	11.2 名/月
	インターネットサービス	976 名	2.8 名/日

## 2. 地域移行・地域定着支援事業 年間実績

24 年度支援者数		11 名		
退院者数	アパート設定・自宅	1 名	支援継続	8 名
	グループホーム	1 名	支援中止	0 名
	生活訓練施設	1 名		
	生活保護施設	名		
普及啓発活動	病院（患者、従事者）	13 回	関係機関・地域	3 回

※普及・啓発活動：あさひの丘病院（毎月 1 回実施）、日吉病院

東洋英和女学院大学、十日市場ケアプラザ、長津田ケアプラザ

## 3. 自立生活アシスタント事業 年間実績

24 年度支援者数	登録者	15 名	相談中	6 名
支援内容	面接	42 回	心理情緒	769 回
	訪問	219 回	医療健康	510 回
	同行	68 回	就労	121 回
			衣食住	499 回
			対人	289 回

## 【主な定例プログラム（抜粋）】

回数	プログラム名	内容	場所	参加人数
12 回	昼食会	昼食を囲んでの会食	食堂、談話室	229
24 回	スポーツ根性クラブ	ショートテニス・ソフトバレーボール	緑スポーツセンター	185
9 回	緑菜園	季節の野菜の植え付けと収穫	市民菜園	30
12 回	作って食べよう	調理実習	食堂、談話室	95
3 回	卓球大会	卓球大会	食堂、談話室	24
10 回	茶話会、メンバーミーティング	メンバー同士の交流会、話し合い	食堂、談話室	116
5 回	女子会	女ならではの交流会&茶話会	食堂、談話室	48
12 回	たこ焼会	たこ焼きを焼きながら交流	食堂、談話室	146
9 回	心理士相談会	心理士による相談会	相談室	28

## 【季節の行事】

月	プログラム名	内容	場所	参加人数
4 月	お花見会	桜を見ながら会食・演奏・歌	センター／鴨池橋	16
6 月	春のバスハイク	観光	浅草東京見物	33
6 月	ホテル観賞会	初夏の風物詩、蛍観賞	四季の森公園	30
7 月	七夕飾り	七夕の飾り付け	支援センター全館	11
8 月	カキ氷会	カキ氷を作って食べる	支援センター食堂談話室	35
8 月	納涼会	流し素麺・バーベキュー	青少年野外活動センター	43
10 月	ハロウィンキャンドルナイト	夜のキャンドルを楽しむ	支援センター食堂談話室	19
11 月	秋のバスハイク	バーベキュー	小田原なみのこ村	26
12 月	クリスマス会	緑区関係機関合同 X マス会	支援センター食堂談話室	83
1 月	初詣・カルタ大会	元旦お参り、カルタ等	杉山神社・支援センター	13
2 月	お汁粉会	お汁粉作り	支援センター食堂談話室	15

## 【地域交流】

回数	プログラム名	内容	場所	参加人数
1 回	みどりコスモスフェスタ	3 障害合同の地域祭り&施設開放	支援センター地活全館	約 300
2 回	あおぞら合同防災訓練	避難訓練・消火器訓練	センター・地活全館	16
20 回	事業所合同ソフトボール	ピネル友の会合同の練習&試合	白山ハイテクパーク	116
1 回	フレンドシップ杯	事業所合同ソフトボール大会	金沢産業振興センター	7
1 回	霧が丘中学校ボランティア体験	地域中学生のボランティア体験	支援センター	3

## 【地域支援事業】

回数	プログラム名	内容	場所	参加人数
12 回	手作りビーズクラブ	ボランティア講師によるビーズ作り	中山地区センター	194
12 回	出張個別相談会	地域の方に向けての相談会	東本郷ケアプラザ	5
2 回	家族教室（初発の家族対象）	情報提供・グループワーク	ハーモニーみどり	40
1 回	家族教室（家族会対象）	家族向け S S T、家族の対応の仕方	ハーモニーみどり	19
1 回	心の病を抱える人が分る講座	統合失調症、制度資源、当事者体験談	十日市場ケアプラザ	36
1 回	こころの病を知る講座	うつ病について	長津田ケアプラザ	20

平成24年度 財団法人紫雲会緑区生活支援センター指定管理料収支決算書

自平成24年4月1日 至平成25年3月31日

(単位 円)

科 目	予算額	決算額			
		合計	指定管理費	地域移行・地域定着	自立生活アシスト
I 収入の部					
1 指定管理料 収入	62,088,000	62,088,000	44,128,000	8,496,000	9,464,000
収入合計	62,088,000	62,088,000	44,128,000	8,496,000	9,464,000
II 支出の部					
1 人 件 費	53,174,000	51,776,765	34,800,348	7,956,923	9,019,494
(1) 給 与	24,631,000	23,998,693	15,532,573	3,970,200	4,495,920
(2) 職員手当等	15,883,000	16,674,898	10,374,281	2,951,623	3,348,994
(3) 賃 金	5,328,000	4,076,390	4,076,390		
(4) 法定福利費	6,196,000	6,156,888	4,223,270	904,620	1,028,998
(5) 厚生経費	1,136,000	869,896	593,834	130,480	145,582
2 施設管理費	3,796,000	4,010,478	4,010,478	0	0
(1) 光熱水費	1,956,000	2,107,140	2,107,140		
(2) 管理運営費	1,725,000	1,783,358	1,783,358		
(3) 修繕積立金	200,000	200,000	200,000		
(4) 利用者負担金充当分	△ 85,000	△ 80,020	△ 80,020		
3 運 営 費	5,118,000	4,383,958	3,331,416	610,814	441,728
旅 費	990,000	843,840	607,740	169,600	66,500
一般物品費	230,000	274,380	274,380		
印刷製本費	400,000	259,967	164,515	47,347	48,105
修繕費	50,000	36,225	36,225		
役 務 費	788,000	724,378	428,860	181,131	114,387
借料損費	980,000	972,693	583,635	194,529	194,529
器具什器費	350,000	248,274	248,274		
施設賠償保険	20,000	36,390	36,390		
保健衛生費	10,000	0			
日用品費	350,000	306,469	306,469		
教養娯楽費	250,000	225,722	225,722		
雑 費	700,000	455,620	419,206	18,207	18,207
4 租 税 公 課		5,693	5,693		
支出合計	62,088,000	60,176,894	42,147,935	8,567,737	9,461,222